2020
2/29 (SAT)
〜
3/31 (TUE)

WHITE RIBBON Run 2020

RUN!

RUN

走ろう。
自分のために。
誰かのために。

ホワイトリボンラン 2020報告書

主催

女性.選択できる世界を.
JOICFP

協賛

大会概要

大会名称 WHITE RIBBON RUN 2020
（ホワイトリボンラン 2020）

主催 公益財団法人ジョイセフ

開催期間 2020 年 2 月 29 日（土）～ 3 月 31 日（火）

特別協賛 FMGMISSION
エフエムジー＆ミッション株式会社

協賛 FCAジャパン株式会社、サラヤ株式会社
株式会社ナチュラルサイエンス、株式会社ドーム
INSOU ホールディングス株式会社、花王株式会社
株式会社コーチョー、株式会社若翔、株式会社はくばく
株式会社ジェイ・エス

後援 江東区、大阪府、大阪市、広島県、広島市
UN Women 日本事務所、国連人口基金東京事務所、一般社団法人 日本家族計画協会
公益社団法人 日本看護協会、公益社団法人 日本助産師会
公益社団法人 日本産婦人科医会、公益社団法人 日本産科婦人科学会
公益社団法人 日本母性衛生学会、公益社団法人 母子保健推進会議（順不同）

協力・後援 国際家族計画連盟（IPPF）
一般財団法人 大阪市男女共同参画のまち創生協会
公益社団法人 大阪府看護協会、公益社団法人 広島県看護協会

競技・運営 株式会社ルーツ・スポーツ・ジャパン

演出 株式会社ワイズマン

広島会場共催 公益財団法人 広島県男女共同参画財団、一般社団法人 パパフレンド協会

※この事業の一部は、競輪の補助金を受けて実施しました。

WHITE RIBBON とは

世界では毎日約 800 人の女性が妊娠・出産・中絶によって命を落としています。このほとんどが日本であれば助かったであろう命です。
すべての女性が望むときに安全に妊娠・出産を迎えられる世界を目指して、ホワイトリボン・アライアンス（WRA、本部：ワシントン D.C.）が設立されました。
現在、世界約150カ国でホワイトリボンの名のもとに活動しています。ホワイトリボン（白いリボン）は、妊娠・出産で亡くなった女性たちの魂を悼み、その悲しみを乗り越えて明日へと希望をつなげる運動の象徴です。

WHITE RIBBON RUN とは

ホワイトリボンランは、3 月 8 日の国際女性デーと連動させて、ジョイセフが 2016 年に発足したチャリティアクション。
2 分に1人、妊娠や出産で女性が命を落としている現状を 1 人でも多くの人々に知らせ、ホワイトリボンの支援の輪を広げることを目的としています。
国際女性デーに合わせて「WHITE RIBBON RUN」に日本全国、世界各国のランナーが同じ大会 T シャツを着て走り、バーチャル（インターネット）でつながって世界中にホワイトリボンのムーブメントを起こします。
エントリー費の約半額が寄付され、途上国の女性の命と健康を守る活動に使われます。

message
メッセージ

ホワイトリボンラン2020開催を目前にした 2月中旬、新型コロナウイルス感染症が日本でも蔓延し始めました。この状況の中でジョイセフは、2020 年 2 月 29 日（土）、3 月 1 日（日）、3 月 7 日（土）、3 月 8 日（日）の 4日間にわたり、開催を予定していたホワイトリボンラン2020の東京、大阪、広島、含む39カ所での「全国拠点ラン」の実施をすべて取りやめることにいたしました。
創立してから50年以上、国際保健の現場で健康を推進してきたジョイセフとして、参加者および関係者の皆さまの健康・安全面を第一に考えた上での苦渋の決断です。参加者、協賛企業をはじめ、この大会のすべての関係者の皆さまには、直前での緊急事態による中止に伴い大変なご迷惑とご心配をおかけしました。それにもかかわらず、ジョイセフの運営方針をご理解いただき、本大会を変わらず最後までサポートいただきました皆さまに心よりお礼申し上げます。

ホワイトリボンラン2020のイベント開催は中止しましたが、期間を 3月31日まで延長し、エントリーされた 4161 人の参加者の皆さまには、どこでも誰でも個人で自由に参加できる「バーチャルラン」に切り替えて走るアクションをお願いし、ホワイトリボンの周知に協力していただきました。

日本各地からの走るアクションが、バーチャル（SNSを使って）で投稿発信され、ハッシュタグで確認できました。
当時まだ新型コロナウイルスの感染者が出ていなかった諸外国からは、みんなでTシャツを着て笑顔でホワイトリボンランに参加する写真やメッセージが届きました。

開催から 5 年目にして、このような世界的な非常事態に直面し、ジョイセフはホワイトリボンランが生み出した「バーチャルラン」の広がる可能性、強みを確信できました。今後、世界中どこにいても誰もが参加できる大会にすべく、まずは参加する私たち一人ひとりの健康を第一に、そして世界中の人たちとつながり、世界の女性にパワーを送り続けたいと思っています。

公益財団法人ジョイセフ
ホワイトリボンラン事務局

大会公式
Tシャツ

ホワイトリボンラン2020 5回目開催記念
アンダーアーマーとの
コラボTシャツが参加賞に。

2020 年は、過去のランナーから寄せられた多くのTシャツライン（種類）リクエストに応えて、これまでのユニセックス、キッズの 2 つの種類に加えて、ウィメンズのラインが登場しました。

SDGs（持続可能な開発目標）とホワイトリボンラン

誰ひとり取り残さない持続可能な社会を目指して 2015 年 9 月に採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」。
2016 年から 2030 年までに世界各国が達成すべき 17 の目標が定められています。ホワイトリボンランはとりわけ SDG3「健康と福祉」、SDG5「ジェンダー平等」、そして SDG17「パートナーシップ」の目標達成を目指しています。

CONTRIBUTORS 著名人のアクション

バーチャル（オンライン）参加で大きく盛り上がりました

イベントにご参加予定だった著名人が、「誰でもどこでもバーチャルラン」に参加。
それぞれ SNS でのメッセージ配信で国際女性デーを盛り上げてくださいました。

イベントは無くなっちゃったけど、
みんなのイマジネーションで走って
世界中の女性にパワーを送ろう。

ダイアモンド✡ユカイ

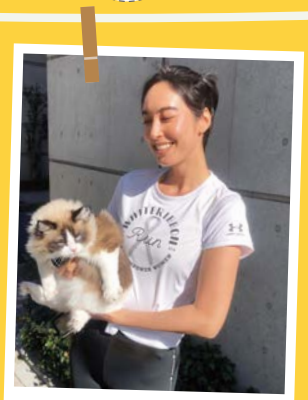
世界中の女性のために
パワーを送りましょう↗

東尾理子

ホワイトリボンラン 初回から
毎年アクションを続ける
土屋アンナさん

土屋アンナ

イベントは無くなったけど、
みんなで走って世界中の
女性にパワーを送ろう！


立野リカ

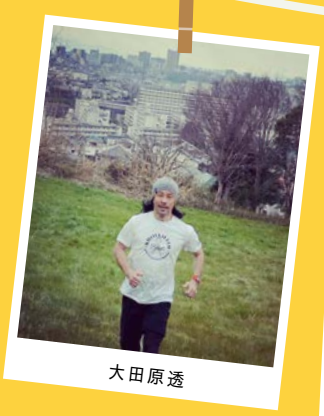
みんなで走ることは
できなくとも目的はひとつ！
それぞれが目的を達成し、
また大きな輪となり
たくさんの命が
救われますように。。。

山本晃子

エミ レナータさんは
Instagram のストーリーズで
何度も発信くださいました

エミ レナータ

いつもの里山ランだけど、
今日はチト違います。
撮って走って、誰かの役に立つなら、
お安い御用です。


大田原透

東京・大阪・広島 3 会場の MC の 3 人。
浅利そのみさんと大塚由美さんと田中悠貴さん

浅利そのみ

大塚由美

今年のホワイトリボンランの
拠点ランは中止になりましたが、
全国どこでもバーチャルランは進行中
今日は少し風が強かったけど、
暖かくて気持ち良い春の日でした。

田中悠貴

2020年初参加の
田中律子さん

中村格子

田中律子

ホワイトリボンラン2020
バーチャルランとして、
夜の東京タワーを
楽しみながら行いました

加茂あこ

Dr. 高尾のケニア視察レポート

産婦人科医でスポーツドクターの高尾美穂先生が、ホワイトリボンラン 2019、2020 支援先のケニアを視察されました。

ホワイトリボンランの支援先、ケニアを訪問しました。首都ナイロビのキベラという最大のスラム。実際にこの目でスラムの状況を見るまで、この国で妊娠・出産で亡くなる女性が多いのは、医療サービスが行き届かないことによる衛生的でない分娩や対処の遅れが原因ではないかと思っていました。

でも、現地で目にしたのは妊娠した 9 歳の女の子。若年の妊婦は安全な妊娠経過や分娩についての情報を得にくいだけでなく、体が成熟していない状態での分娩は命の危険を伴います。自分の体について知らないうちに妊娠してしまうことが、若い女性と赤ちゃんの命を奪っているのだと実感しました。これからも産婦人科医、スポーツドクターとして、私にできることをしていきたいです。

GUEST 賛同著名人

冨永 愛
ジョイセフ アンバサダー

ダイアモンド✡ユカイ
歌手・俳優

土屋 アンナ
モデル、歌手、女優

東尾 理子
プロゴルファー

田中 律子
タレント

敦子
モデル

立野 リカ
モデル

河内 セリア
モデル

エミ レナータ
モデル
ゴムバンドインストラクター

レスリー・キー
写真家

高尾 美穂
産婦人科医
スポーツドクター

中村 格子
整形外科医
スポーツドクター

大田原 透
株式会社アールビーズ 執行役員
営業本部 副本部長
元 Tarzan 編集長

山本 晃子
ファイティング
エクササイズ講師

加茂 あこ
2019
ミス・ユニバース
日本代表

湊谷 亜斗林
ミス・グランド・ジャパン
2019 日本代表

浅利 そのみ
フリーアナウンサー

大塚 由美
ラジオ DJ

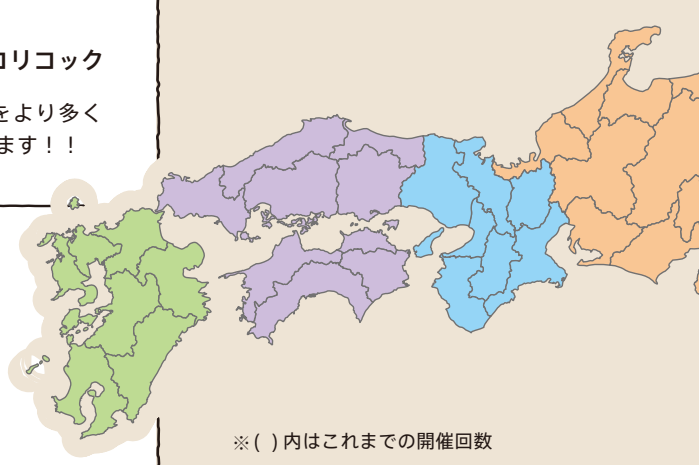
田中 悠貴
フリーアナウンサー

関根 真澄美
ZUMBA®
インストラクター

Mie、Fumi、Asuka
ヨガインストラクター

日本各地の拠点からのメッセージ

Messages from Registered Sites in Japan



※( ) 内はこれまでの開催回数

兵庫県姫路市（3） Himeji

WOODWORKING cafe

毎年この日を自分たちにとってとても大事な日として、ランを通じて世界の皆とつながる想いで走っています。事務局をすることで、それぞれが想うこともあり、より多くの方に知ってもらえるように努力しています。年々つながる人が増えるようにしていきたいと思います。

山口県熊毛郡（初） Kumage

WHITE RIBBON RUN 2020 祝島

コロナウイルスにめげず、来年もぜひ開催したいと思っております。

佐賀県武雄市（3） Takeo

ホワイトリボンラン SAGA 運営事務局

走らない４人が地域の皆さん達と一緒に作り上げているホワイトリボンラン佐賀拠点は「走らない人が楽しめる」がコンセプトです。たくさんのご意見、ご協力、本当にありがとうございます。毎年懲りずに継続していきますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします♡

協賛：税理士法人武雄中央会計、株式会社家ひきの中島建設、ハッピークローバー、あんにん、西九州観光バス株式会社、朝日 I&R プロパティ株式会社、餃子会館

長崎県雲仙市（初） Unzen

ホワイトリボンラン UNZEN

初めての開催に向け昨夏より少しずつ準備を始めておりました。残すところ半月という時に新型コロナウイルスの感染拡大により中止の連絡を受け、落胆いたしました。しかしながら日々変わる状況や情報を拝見し、早めの判断に間違いはなく一年間の猶予を得たと前向きに思い、来年に向け準備を進めていきたいと思っております。

長崎新聞にも出ました！

兵庫県神戸市（4） Kobe

White Ribbon Run 神戸事務局

“世界中のお母さん 女性のチカラになろう” ー子どもと始める　はじめての小さな試みでした。お友達が一緒に走ってくれる。声を掛けていただいたこと、うれしかったです。募金につながる大きな動きはできませんでしたが、子どもたちの心に響く機会となりました。

岡山県岡山市（2） Okayama

一般社団法人岡山県助産師会

爽やかな若い男女の方々と、爽やかな汗を流せて充実感がありました。最高のイベントです。

鹿児島県鹿児島市（2） Kagoshima

若松記念病院

学生主体の運営で進めました。昨年の反省を踏まえ、走るだけで終わらせてはいけないという思いのもと、自分たちで勉強会を開き、当日参加者の方にも考えていただけるようなコンテンツを考えました。私たちの思いにたくさんの大人の方々が共感してくださり、多くの参加者が集まりました。これからもたくさんの方にホワイトリボンについて知っていただけるようがんばります！

協賛：社会医療法人博愛会相良病院、医療法人真門会中江産婦人科、医療法人平野エンゼルクリニック

熊本県熊本市（4） Kumamoto

熊本市男女共同参画センターはあもにい

今回は中止となり、大変残念です。当館で同時開催の国際女性デー啓発イベント「ミモザフェスティバル」も中止となりましたが、次年度はさらによりよいパワーアップした事業となるよう力を蓄えたいと思います。また、イベントが中止となっても支援が中止となったわけではないので、今後も女性のエンパワーメントや男女共同参画の啓発に尽力していきたいと思います。

滋賀県甲賀市（初） Koka

ドリームポケット

滋賀から各分野のプロによる活動拠点を目指します。甲賀の地より全世界へ！来年に向けて動いております。

三重県津市（4） Tsu

三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

ムーブメントを来年につなげよう！

奈良県天理市（2） Tenri

自然な暮らし commu⁺ cafe コリコック

来年は是非ともホワイトリボンをより多くの方に知ってもらえるように走ります！！

愛媛県松山市（初） Matsuyama

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

ホワイトリボンランの担当をさせていただくことで、国際協力や女性支援に興味のある方とお話しする機会ができ、感激いたしました。来年度も、自分のためにも走れたらいいなと思っております。

宮崎県宮崎市（3） Miyazaki

特定非営利活動法人 みやざき男女共同参画推進機構

みやざきでも！走ろう。自分のために。誰かのために。

滋賀県大津市（2） Otsu

ホワイトリボンラン 2020 滋賀

全ては思うこと願うことからはじまる♡ それは強い情熱を伴った想いへ…行動へと 私たちを導いてくれます。あなたがこの世に生まれてきた奇跡。そんな奇跡が世界中のママたちに届く世界になりますように。滋賀から世界へ向けて発信していきます。

びわ湖放送にも出たよ

香川県高松市（3） Takamatsu

ガールスカウト香川県連盟第４団

日本のガールスカウト運動は 2020 年に 100 周年を迎えます。私たちはこれからも「すべての少女と女性」がよりよい社会に暮らせるよう、私たちをとりまく環境・問題に向き合い、力をつける活動をしていきます。

新潟県新潟市（3） Niigata

美ランニングクラブ新潟

拠点３回目でしたが、毎年このホワイトリボンランの趣旨に賛同し、エントリーしてくれる方が増えて新潟事務局としても大変うれしく思います。これからもホワイトリボンランを広めていきます！

長野県須坂市（初） Suzaka

ホワイトリボンラン須坂実行委員会

市内、県内、日本全国、世界のランナーがつながって、一人でも多くの女性が救われますように。

徳島県徳島市（4） Tokushima

ホワイトリボンラン徳島

ホワイトリボンランを楽しみにしてくださっている皆さんとお会いできるのがとてもうれしいです。スタッフみんなで良いイベントになるよう、がんばります！

静岡県湖西市（初） Kosai

湖西 White ribbon run

こういった機会をきっかけに、自分なりにできることを見つけて取り組んでいければと思います。

山形県山形市（初） Yamagata

ホワイトリボンラン山形

2021年こそ！初開催！

東京都中野区（初） Nakano

アンダーアーマーランナーズハウス中野

今回、初の参加でしたがコロナウイルスの関係で中止となり…非常に残念でした。今後もイベントを通してたくさんの方とつながり、もっと活動が広がることを祈ってます。これからもできる限り協力し、メッセージやストーリーを一緒に発信し、より多くの方に知っていただけたら幸いです。

神奈川県横須賀市（初） Yokosuka

Torch for Girls

初参加予定でしたが、開催できず残念でした。来年は、今年の分も盛り上げていきます！来年が楽しみです！ ジョイセフの皆さま、お疲れ様でした。

静岡県富士市（2） Fuji

NPO 法人　楽しいことやら座

今年の大会では子どもたちに楽しんでもらえるイベントを考えました。準備期間中に出てきたいろいろなアイディアを形にしていきました。実行委員会の結束も固く、それぞれ忙しいなかでの準備、本当によくやったと思います。楽しかったです。地元がますます好きになりました。

協賛：富士吉原ライオンズクラブ

静岡県浜松市（3） Hamamatsu

NPO 法人浜松男女共同参画推進協会

「走ろう。自分のために。誰かのために。」この言葉が大好きです。大会の趣旨に共感し、３年間、浜松で拠点運営をしてきました。今年は浜松拠点で80人以上のエントリーがあり、同じ思いを持った方がこんなにたくさんいることを実感できました。本当にうれしいです。残念ながら拠点ランは取りやめになりましたが、あいホールの展示ブースにも多くの方が来てくださり、思いがつながっていることを感じています。来年こそは浜松でお会いできること楽しみにしています！

協賛：常盤工業株式会社

秋田県仙北市（2） Semboku

仙北市地方創生・総合戦略室

拠点ランが中止になっても、まだまだできることがある！！

東京都渋谷区（初） Shibuya

WHITE RIBBON RUN TOKYO2020

拠点への細かな配慮ありがとうございました。開催できなくてとても残念でしたが、バーチャルランがんばります。ありがとうございました。

神奈川県横浜市（2） Yokohama

株式会社 WALK&WALK

エントリーいただいた皆さま、ありがとうございました！自分のために。誰かのために。自分の元気が誰かの笑顔につながりますように。来年こそは青空の下、みんなで笑顔でお会いしましょう！！！

静岡県静岡市（初） Shizuoka

静岡市番町市民活動センター

静岡市初の拠点ランに手を挙げて、性別、年齢、立場を問わず多くの皆さんにホワイトリボンランの趣旨に賛同いただくことができて、実行委員会として達成感がありました。新型コロナウイルスの感染拡大で心身共に元気がなくなってしまう社会の中で、思いやりや共感の思いと行動を大切にし続けたいと思います。

協賛：静銀セゾンカード、ギャラリー十夢

愛知県名古屋市（3） Nagoya

ホワイトリボンラン名古屋実行委員会

宮城県仙台市（初） Sendai

公益社団法人全日不動産協会
宮城県本部 女性部会

来年こそは、開催したいです。

千葉県千葉市（初） Chiba

株式会社オフィス・嶋

千葉では初めての拠点ラン開催でしたが、皆さんと一緒に走ることはできませんでした。来年はますます盛り上げて、エントリーして下さった皆さんと笑顔で走りたいと思います。

神奈川県川崎市（3） Kawasaki

ホワイトリボンラン川崎実行委員会
SMILE FESTA

妊娠・出産・中絶で命を落とす女性ゼロを目指して！川崎市から世界に笑顔を届けます！ 今年もありがとうございました。

東京都江東区（2） Koto

アンダーアーマーブランドハウス有明

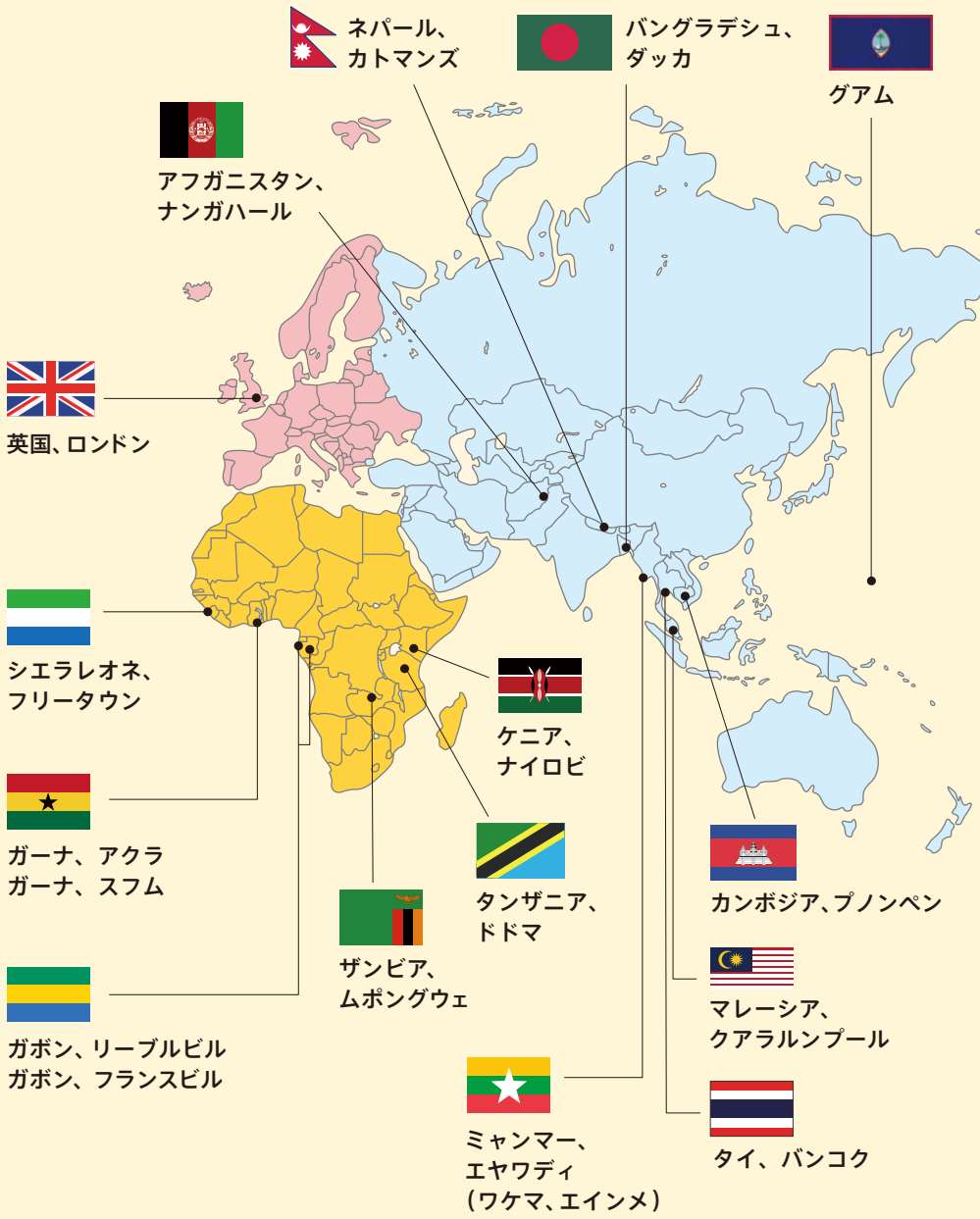
静岡県三島市（5） Mishima

HiPs 三島

今年もホワイトリボンランの企画をありがとうございます。ホワイトリボンランに出会って800人もの女の人が妊娠・出産・中絶で命を落としていること、そして、体力の向上が誰かを助けるパワーになることに気づきました。そして、その気づきが年々広がっていくのを感じています。来年はもっと大きく広がって、1人でも多い笑顔を増やしていけたらいいなぁと思います。

世界に広がるホワイトリボンラン

WHITE RIBBON RUN around the World



英国、ロンドン London, UK

国際家族計画連盟
International Planned Parenthood Federation（IPPF）

IPPF本部所在地である英国ロンドン特有の曇り空の下、タワーブリッジを背景にプログラム・会計・調達・広報等の担当スタッフ10名で走りました。2020年の大会公式Tシャツも大人気でした。今こそ国を越えて力を合わせ、COVID-19が世界の女性の健康に与える深刻な悪影響を食い止めなくては！

谷口百合
（IPPF本部チーフ
資金調達アドバイザー）

シエラレオネ、フリータウン

Freetown, Sierra Leone

シエラレオネ家族計画協会
Planned Parenthood Association of Sierra Leone

ジェンダー平等を目指そう
家族計画は自分で決めるべきもの
女の子たちを守り10代の妊娠を防ごう
私たちの体、私たちの権利、私たちの選択
ジェンダー不平等に
NOを突きつけよう

シエラレオネ
家族計画協会
若者ピアエデュケーター

ガーナ、スフム Suhum, Ghana

スフム郡保健局 Suhum Municipal Health Directorate

ガーナのスフム郡では、若者の妊娠が増えています。各世代の女性が望むときに安全に妊娠･出産を迎えられるように、郡保健局、現地 NGO、地域保健ボランティアが、地域の人々と共に活動をしています。郡保健局保健師のマーガレットさんが、ホワイトリボンランを先導し、保健施設の周辺を走りました。

榎本彰子
（ジョイセフスタッフ）

ガーナ、アクラ Accra, Ghana

ガーナ家族計画協会
Planned Parenthood Association of Ghana（PPAG）

ガボン、フランスビル Franceville, Gabon

国連人口基金ガボン事務所
ジョイセフワークショップ参加者
UNFPA Gabon - JOICFP Workshop Participants

ガボン、リーブルビル Libreville, Gabon

青年海外協力隊、UNFPAガボン JICA volunteers, UNFPA Gabon

アフリカ中西部の小国ガボンは石油採掘で中進国入りしたことによって、この国への国際援助が大幅に縮小しました。しかし国民の多くを占める貧困層が利用する公的医療施設では避妊具・薬が圧倒的に不足しています。意図しない妊娠が原因で亡くなる女性をゼロにすることを目ざして、首都リーブルビルを象徴するビーチでホワイトリボンランを実施しました。参加したのは、ガボン各地で活動している青年海外協力隊の皆さんと、国連人口基金ガボン事務所長です。

山口悦子
（ジョイセフスタッフ）

ザンビア、ムポングウェ Mpongwe, Zambia

ザンビア家族計画協会
Planned Parenthood Association of Zambia（PPAZ）

ザンビアでは、10代の望まない妊娠・出産がとても深刻な課題の一つです。ホワイトリボンランで は、女性の若者ピア･エデュケーターとともに、10代の妊娠や出産などのさまざまな女性を取り巻く課題を解決したいという気持ちを込め、歌を作り、走りました。

アリス・シニンザ
（ザンビア家族計画協会
プロジェクトマネージャー）

タンザニア、ドドマ Dodoma, Tanzania

タンザニア家族計画協会
Uzazi Na Malezi Bora Tanzania（UMATI）

タンザニアでは、タンザニア家族計画協会（UMATI）の皆さんとドドマにある同協会の事務所の周辺でホワイトリボンラン を実施しました。「SRHRは若者の権利！皆で自信を持とう！」というメッセージを歌に乗せて、歌いながら、若者のセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルスの権利を訴えました。

藤島一貴
（ジョイセフスタッフ）

ケニア、ナイロビ Nairobi, Kenya

ケニア家族計画協会 Family Health Options Kenya（FHOK）

ホワイトリボンランを実施したキベラスラムはアフリカ最大の都市スラムで、高い若年妊娠率や安全でない中絶が原因で妊産婦の死亡がたびたび起こっている地域です。ホワイトリボンランに参加した若者ボランティアは、地域の若者に、妊産婦･新生児･乳幼児・思春期保健に関する知識を伝え、必要に応じて住民を病院へ紹介する活動をしています。ランは地域の人たちの注目を集め、参加者が楽しみながら母子保健を知る機会となりました。

フェイス・カテウ
（プロジェクトコーディネーター、
ケニア家族計画協会）

ホワイトリボンランの寄付金の用途 ① ケニア

ホワイトリボンラン2020の寄付金は、ナイロビとニエリのスラムで、家族計画への男性参加促進と女の子の自己肯定感を高める支援に活用します。スラムの女性を支援するためには、男性の理解と協力が不可欠です。集まった寄付金でスラムに住む男性を対象としたジェンダー平等、リプロダクティブ・ヘルス／ライツについて学ぶ機会を提供します。また、若者に思春期保健情報を伝えるピア・エデュケーターの活動や、ダンス・音楽などのクラブ活動の活性化を通じて思春期保健向上を目指します。

ホワイトリボンラン 2020には、海外の19カ国・地域から、345人以上の参加がありました。英国、イタリア、ガーナ、ガボン、シエラレオネ、ケニア、タンザニア、ザンビア、アフガニスタン、ネパール、バングラデシュ、ミャンマー、カンボジア、タイ、マレーシア、グアム、米国、カナダ、メキシコ、エルサルバドル。

WHITE RIBBON RUN 2020に参加した皆さまのエントリー費の一部を下記の活動に寄付します。
（活動内容は計画案のため、寄付の金額により変更されることがあります。）

2020年 支援先 寄付内訳		
	アフガニスタン	2,850,750 円
	ケニア	2,850,750 円
	合計	**5,701,500 円**

ホワイトリボンランの寄付金の用途 ② アフガニスタン

ホワイトリボンラン 2020 による寄付金で、アフガニスタンのジャララバード市郊外で母子保健クリニックの運営を支援し、女性と母子に保健医療サービスを届けます。アフガニスタンの女性が安心して保健医療サービスを受けるためには、文化・慣習的な事情から、女性の医療スタッフの存在が欠かせません。寄付金で母子保健クリニックに女性医師をはじめ多数の女性スタッフを配置し、母子保健サービスの他、女性に健康を守る知識を身に付けてもらうための啓発活動を行います。

グアム Guam

White Ribbon Run Volunteers

カナダ、トロント Tronto, Canada

White Ribbon Run Volunteers

米国、ワシントンD.C.

Washington D.C., USA

ホワイトリボンアライアンス White Ribbon Alliance

ホワイトリボンアライアンスは、最高裁判所の前でリプロダクティブ・ライツを訴えるデモに参加し、その後、議会議事堂前に集まり、世界中の女性と女の子のためにホワイトリボンランを実施しました。

メキシコ、ベラクルス

Veracruz, Mexico

クルス・デ・パルマ農村地域クリニック
Cruz de Palma Rural Community Clinic

メキシコでは公立病院に患者が集中し、加えて資金不足による機材や医薬品の不足、設備の老朽化が問題となっています。今はコロナ対策に追われています。2月に日本で研修を受けてホワイトリボンラン を知り、帰国後に友人と家族に声をかけて、ベラクルス州テンポアル市で走りました。

ナバ・クルス・ルース・ベッサベ
（ベラクルス州政府保健サービス局
クルス・デ・パルマ
農村地域クリニック 看護部チーフ）

タイ、バンコク Bangkok, Thailand

タイ家族計画協会
Planned Parenthood Association of Thailand（PPAT）

アフガニスタン、ナンガハール

Nangarhar, Afghanistan

アフガン医療連合センター
United Medical Center for Afghans,
Rehabilitation Program for Afghanistan（UMCA/RPA）

今年のホワイトリボンランはナンガハール州の女性課と共同で開催。会場はアフガン医療連合センターのオフィスでした。集まった約50人の女性たちに、妊娠・出産に関わる情報を提供しました。

アブドゥル・ワリ・ババカルキル
（アフガン医療連合センター事務局長）

マレーシア、クアラルンプール

Kuala Lumpur, Malaysia

IPPF 東・東南アジア・大洋州地域事務局
IPPF East & South East Asia and Oceania Region

すべての女性が自分の体のことを自分で決め、必要な時に必要な避妊手段を手に入れ、安全に出産できるようにすることは、基本的人権です！ IPPFの東・東南アジア・大洋州地域事務局は 25カ国で活動している加盟協会のサポートを通じて、誰一人妊娠や出産で命を落とすことがないように取り組みます！

福田友子
（IPPF 東・東南アジア・
大洋州地域事務局長）

ミャンマー、エヤワディ（ワケマ、エインメ）

Ayeyarwady, Myanmar

ワケマ保健局、エインメ保健局
Wakema Township Health Department,
Einme Township Health Department

エヤワディ地区はミャンマーで妊産婦死亡率が2番目に高い地域です。ホワイトリボンランでは、助産師たちと共に、母子保健や家族計画への意識を高めてもらいたいと願って、それぞれの名所のテッチャ・マハー・ティリ寺院とアノーヤター通りで走りました。

ナイン・トゥン
（ジョイセフミャンマー事務所、
フィールドオフィサー）

エルサルバドル、チャラテナンゴ

Chalatenango, El Salvador

シバシ・チャラテナンゴ病院
SIBASI Chalatenango, Regional Health Department,
Ministry of Health

真に闘う人とは、常に勝つ人ではない。負けてもあきらめない人だ。みんなで国際女性デーを盛り上げよう！

サントス・ロペス・オスカル・アミデス
（チャラテナンゴ県保健局
ラ・レイナ地域看護師）

ネパール、カトマンズ Kathmandu, Nepal

ネパール家族計画協会
Family Planning Association of Nepal

バングラデシュ、ダッカ Dhaka, Bangladesh

White Ribbon Run Volunteers

カンボジア、プノンペン

Phnom Penh, Cambodia

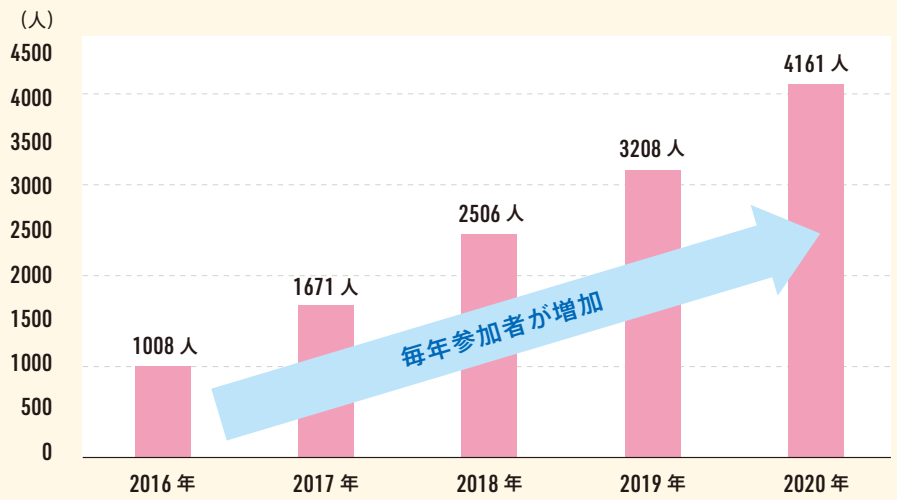
カンボジア・リプロダクティブ・ヘルス協会（RHAC）
Reproductive Health Association of Cambodia

データで見るホワイトリボンラン 2020

WHITE RIBBON RUN 2020 Infographics

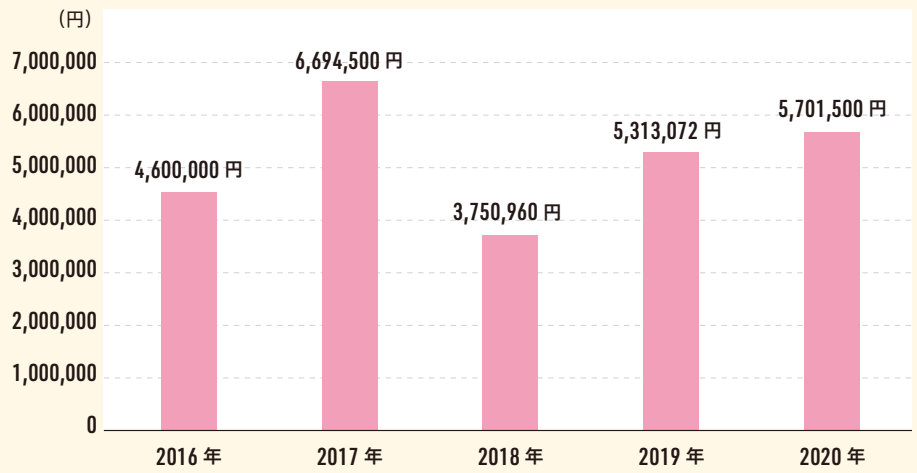
大会5年の推移

1 エントリー数



2 寄付金

5年間の寄付金総額
合計 **26,060,032円**

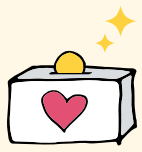


ジョイセフ
ホワイトリボンラン担当
横井ナナ

参加者は 30～40 代女性が中心。
男女の割合が 2016 年の 2：8 から、
2020 年には 3.5：6.5 へ。
男性の認知度もUP!

2016 年、2017 年はエントリー費の全額を寄付。2018 年以降は、エントリー費の半額を寄付に変更。

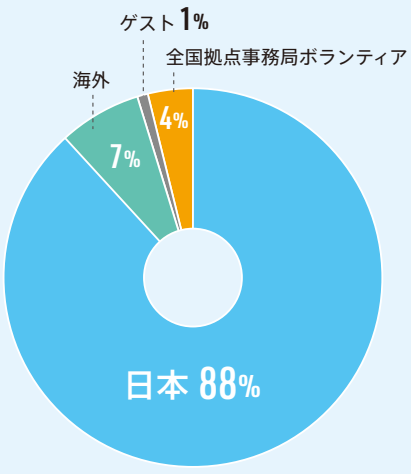
5年間で
約2600万円の
寄付金を世界の
女性のために
活用できました！



参加者内訳・傾向

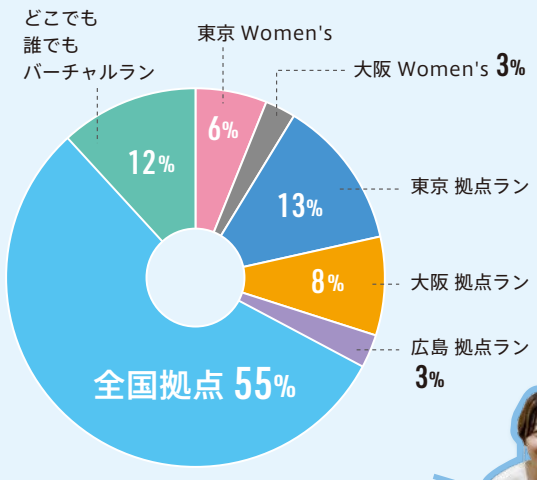
1 参加者内訳

合計 **4711人**

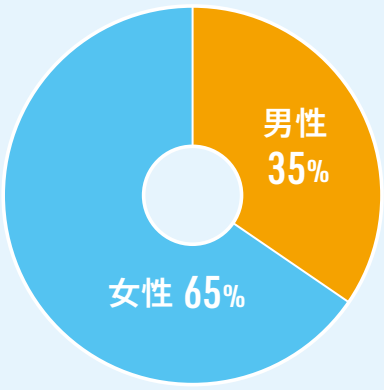


2 日本での参加者内訳

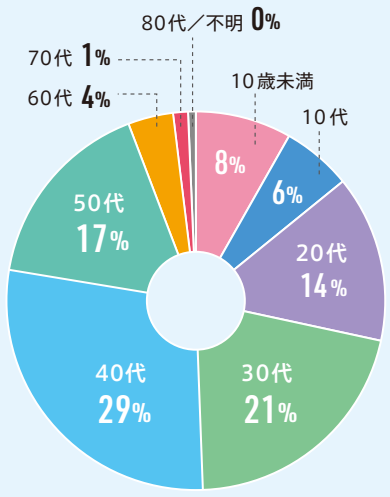
日本参加者
合計 **4161人**



3 男女比

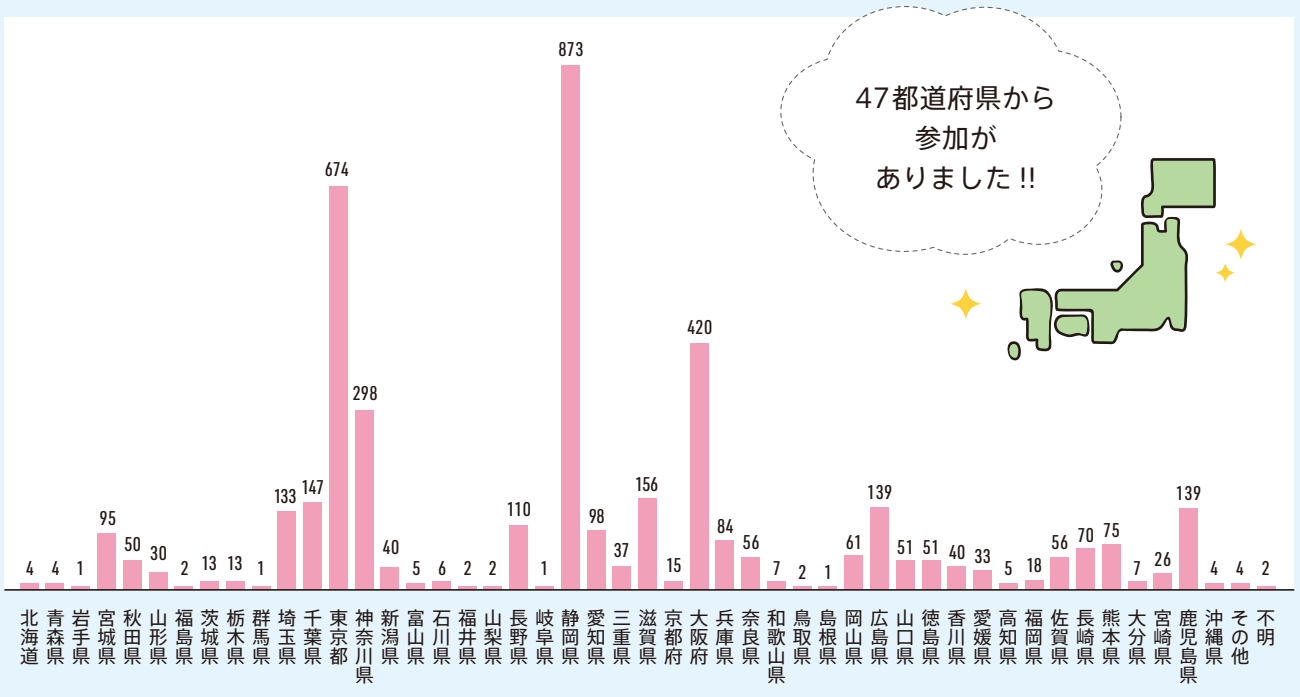


4 参加者の年齢



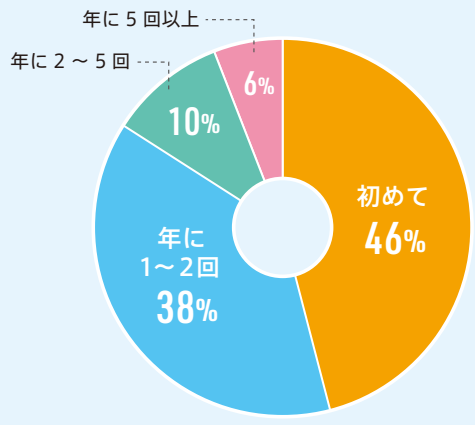
全国拠点で盛り上げてくださる
ボランティア事務局のお陰で、
全国拠点の割合が約 8 割！

5 都道府県別参加者数



47都道府県から
参加が
ありました !!

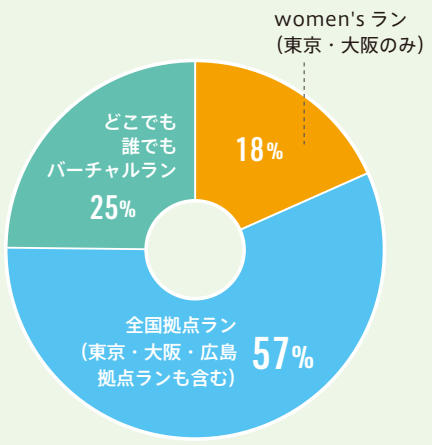
6 ランニング大会への参加回数



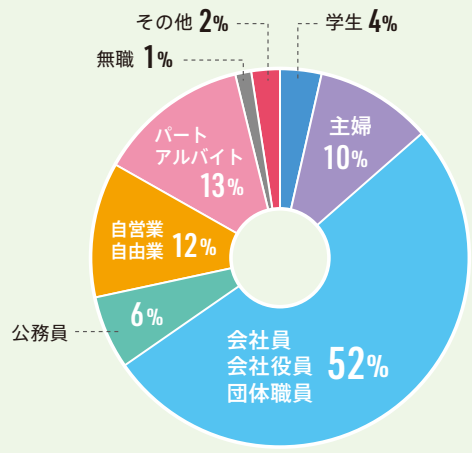
ホワイトリボンランは
ファンランのため、
初めてランニング大会に
参加する方にとって
チャレンジしやすい
イベントです！

事後アンケート　回答者数：681人

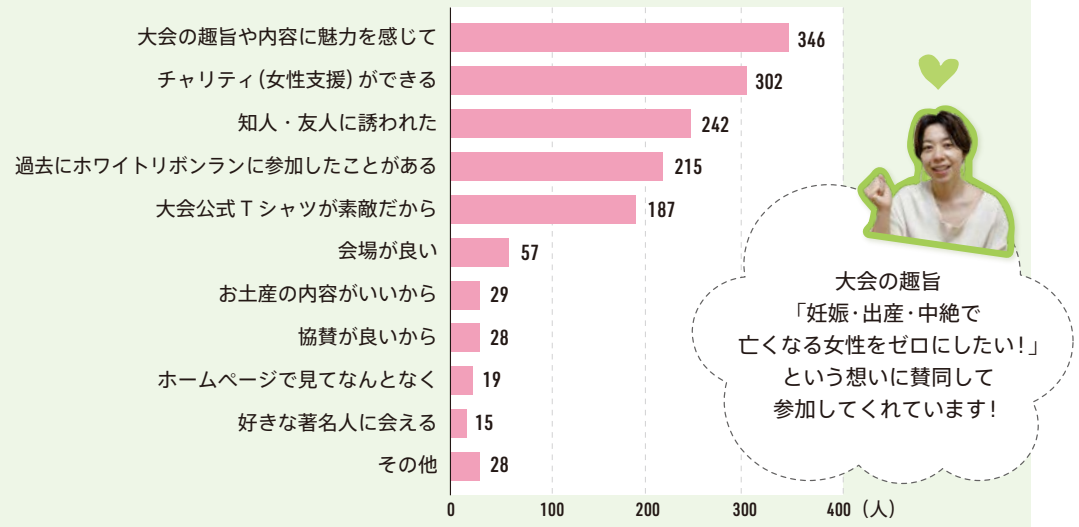
1 エントリー種目



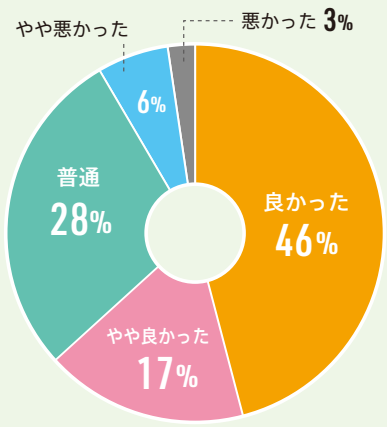
2 参加者の所属等



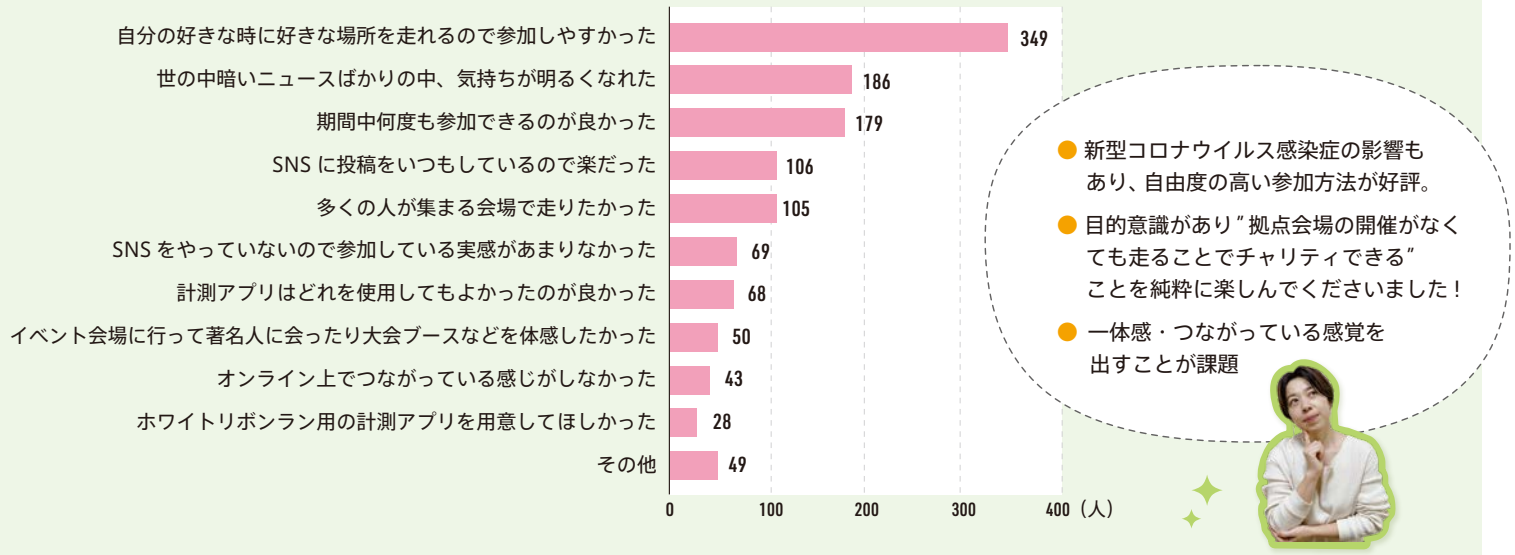
3 エントリーしたきっかけ（※複数回答）



4 どこでも誰でもバーチャルランに移行しての開催について



5 4の回答の理由（※複数回答）



6 大会に参加して変わったこと

- 手軽に誰でもできる国際協力で、今年はケニアやアフガニスタンに興味を持った。
- ほんの小さな行動でも集まればすごい力になる。
- 妊娠も出産も産後も、一筋縄ではいかない大変なことだらけなので、少しでも支援できる機会をみつけて、参加していこうと思いました。
- 世界中の女性のことを考えるようになりました。
- 普段のランニングが意味のあるものに変わり、またいろんな人ともつながれた。ランニングについての考え方が社会的なものになった。
- 走ることでチャリティに貢献できるなら今後も積極的に参加しようと思いました。自分も楽しんで走れてそれが世界の女性のサポートにつながるという、どちらにもWINを感じられるのは大変良いと思います。これからも積極的に参加したいと思いました。
- チャリティに関心を持ち、一女性としてしっかりとした考えを持って行動するようになった。
- 女性の権利や発展途上国の女性の健康についてなど考えるきっかけになった。
- チャリティ専門のランイベントに出続けようと思いました。普段は一般レースに出ていてチャリティ募金も少額なので。
- ランニングの習慣が付いて健康になった。
- 娘と応募しましたが、女性が子どもを持つこと、安全に生まれてくることが常識ではないことなど話すことができました。
- 好きなRUNで募金ができるうれしさ。
- 人を想って走ると力が出てきました。
- 人権について考える時間を持て、お友達と共有できることに、幸せを感じました。スタッフの皆さんが一生懸命に、イベントに向けて取り組んでいるのが伝わり、コロナウイルス感染拡大で、少なからず暗くなりがちでしたが、励まされ、感謝しております。
- 自分のためは、誰かのためになる。
- チャリティイベントが身近になりました。日常の少しの時間を使うことで、世界の問題に目を向けたり、ささやかながら貢献できることを知りました。
- 誰かのために！と思ってても、行動に移すことは難しい。だからこそこのイベントがすごく魅力的で行動できたことをうれしく感じました。自分のため、誰かのために走るrunは最高に気持ちいい、また誰かのために走りたいと意識が変われたような気がします！
- こどもに伝えたい、男性にも知ってほしいと思いました。
- 走るのがとても嫌いでした。でも、前よりも走りに出かけることが増えました。気持ちがこもりがちなので、人の心と体の健康には、走ることが必要だと思いました。自分が健やかにいると、周りの人を幸せにできるのだと思えました。
- 自分の行動が、世の中の誰かのためになることを実感できるだけで、今日も走ろうという気にさせてくれた素晴らしい企画でした。単発ではなく、1カ月あったので、なおさら誰かのために動ける自分を感じられる喜びをもらえました。
- 同じ想いのランナーや企業とつながりができて、情報発信の影響力と人とのつながりや大切さを改めて感じました。今まではSNSは一方通行な感じがしていたけれども、知らない人とも温かいコミュニケーションがあることを知って、もっとSNSを通した活動をしたいと思うきっかけになりました。
- 社会に貢献できる企画であることも素晴らしいが、それも命あってのこと。今回の新型コロナウイルスとも、今後どうやって付き合っていくのか、非常に身が引き締まる思いがしました。

5年間の軌跡 5Years of WHITE RIBBON RUN

2016 3/8 国際女性デーに、世界の女性の命のために走る大会がスタート！

世界では毎日約800人の女性が妊娠・出産・中絶が原因で命を落としています。この現実を変えるため、国際女性デーに女性たちで集まって走るチャリティランを初めて開催しました。3月6日（日）に、「走ろう。自分のために。誰かのために。」というスローガンを掲げ、総勢約400人の女性が、お台場を走りました。

土屋アンナさん、立野リカさん、敦子さん、MINMI さん他多数のゲストランナーが参加者とともに走りました

メイン会場には、たくさんの華やかなミモザの花が！

ミモザのフォトブース

整形外科医 / スポーツドクターの中村格子先生による「大人のラジオ体操」でウォーミングアップ

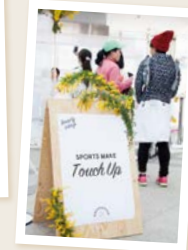
この日のためだけ特別に作られた新麦コレクション特製「カラダとココロにやさしいスペシャルパン」をプレゼント

「走る女性のパワーで毎日を豊かに」をキーワードに、様々なアイディアをかたちにしていく一般社団法人ランガール（RunGirl）のサポートのもと、大会運営のノウハウや、女性ランナーの視点を活かし、魅力的で意義のある大会づくりを目指しました。

会場近くにあるフジテレビがホワイトリボンでライトアップ

2017 大会初で最後?! 黒い大会公式Tシャツを着てお台場 7kmラン。

2回目の大会は、屋内会場と屋外会場にステージを設け、ビューティーブース、ヘルスブース、マルシェなど「カラダの中側、外側からキレイになろう」をテーマに、会場でランナーが楽しめるコンテンツを多数用意して開催。屋外では、お母さんと子どもが一緒に走れる「バギラン」の体験も実施しました。



Beauty Village

スポーツメイクで人気のメイクアップアーティスト長井かおりさんディレクションのタッチアップサービス

大会公式Tシャツは、「株式会社リバースプロジェクト」によるデザイン。SHELLY さんと梅宮アンナさんによるトークも。

×

Marché

アフリカとアジアの生地や素材を使ったカラフルな雑貨を販売

FIAT 展示ブースではミモザをランナーにプレゼント

2018 拠点が全国に広がり、参加者が 2600人に！

アンダーアーマー（株式会社ドーム）の協賛による、初の公式Tシャツが登場。国内の参加者は、47 都道府県に広がり、参加者数は2600人に達しました。全国35カ所のバーチャル拠点では、富士山、大阪城、姫路城、熊本城、名古屋城、由比ヶ浜、日南海岸などのそれぞれの地域の名所を眺めながらのコースが多く見られました。

プラチナムチアリーダーズによるパワフルな応援

東京有明会場にはアンダーアーマーフォトブースが登場

メイン会場では抜けるような快晴の下、土屋アンナさんのカウントダウンでランナーが一斉にスタート！

1988 年ソウルオリンピック銀メダリストのダグラス・ワキウリさんがケニアから駆けつけ、スターター・応援ランナーとして参加

神奈川県鎌倉拠点は由比ヶ浜海岸でランを開催

©Photo Office Wacca Kouki Otsuka

富士山をバックに走る静岡県三島拠点の参加者たち

2019 大阪 women's 会場初開催。多彩なゲストが東京と大阪に集結

ホワイトリボンラン 2019 では、東京に加え、大阪会場でも women's 会場を設置。ニューヨークのハーレムランや、Run 4 All Women の設立者で世界的に著名なランニングの活動家アリソン・マリエラ・デシールさんが来日し、東京会場で走ることの意義と女性の健康支援の重要性を熱く語りました。大阪会場では、世界的に有名なフォトグラファーのレスリー・キーさんも駆けつけ、会場を盛り上げました。

アリソンさんと産婦人科医でヨギーニの高尾美穂先生が対談

Special talk

×

ジョイセフアンバサダー冨永愛さん（左）と、モデルでヴィーガン ペイストリーアーティストの 長谷川理恵さん（右）による、国際女性デースペシャルトークショー

東京有明 Women's 会場では、晴天の下、111人のランナーが有明 5kmランに参加

大阪 women's 会場のゲストランナー。左から美馬寛子さん、立野リカさん、敦子さん、河内セリアさん、長谷川理恵さん

吉本新喜劇の皆さんもゲストランナーとして参加。座長の酒井藍さん（右から 2 番目）がスターターを務めました

世界的に有名なフォトグラファー、レスリー・キーさんが撮影で応援！

2020

新型コロナウイルスに負けない！
オンラインで広がるホワイトリボンラン

日本から4161人、世界から345人のエントリーと、過去最高の参加者数となった2020年。新型コロナウイルス感染症拡大という緊急事態に、計画内容とは全く異なったオンラインに特化した形態の大会に移行しましたが、こんな時だからこそ、「走ろう。自分のために。誰かのために。」という大会スローガンが過去5年間のなかでもっとも参加者に響く大会となりました。世界中どこからでもホワイトリボンランに参加できること。そして、そのアクションの様子をオンライン上で可視化し、ホワイトリボンでつながる連帯感を感じ合うことができました。

#ホワイトリボンチャレンジ

WHITE RIBBON Challenge

大会期間中、世界中で走っている様子をSNS上（Instagram、Twitterなど）に投稿すると世界地図上でマッピングされる#ホワイトリボンチャレンジを実施。期間中に2562件の投稿が！

ランナーが走った写真をSNSで投稿するごとに地域（都道府県）と、数がカウントされ、同じ地域（都道府県）でのアクションの数がまとまった数になるとオンラインの地図上にホワイトリボンがマッピングされていく仕組み。その他、指定されたハッシュタグを付けて投稿すると、投稿者に代わり1投稿につき100円をエフエムジー＆ミッション株式会社がジョイセフに寄付。

新型コロナウイルス感染症で断念、東京・大阪・広島会場

東京・大阪会場

東京・大阪会場では、今年初挑戦の、午前中は性別・年齢関係なく大人も子ども走れる拠点ラン、午後から女性限定のwomen’sランを開催予定でした。拠点ランの申し込みが東京は約600名、大阪は約400名と他の会場よりも参加者が多く、また多くのゲストランナーの皆さまも参加を楽しみにしてくださっていたのに実現できず残念でした。

広島会場

「ランニングや運動をし、体を健康に保つことで、災害時にも自分を守ることができる」という想いで、2018年の西日本豪雨災害の時、ジョイセフが母子・女性の支援をした広島で開催することになりました。西日本豪雨で活動を共にした一般社団法人パパフレンド協会と共催し、ジョイセフスポット、広島大学学生からもサポートを得て、約140名にエントリーをいただき準備を進めていました。

広島会場事務局
メンバーのみなさん

広島テレビ「テレビ派街かど伝言板」で大会のPR告知

「おりづるタワー」10階にある公益財団法人広島県男女共同参画財団「エソール広島」が会場。見下ろすと原爆ドームが目の前に

全国拠点事務局と密なコミュニケーションを図るため、「ZOOM」を使ったオンライン会議を3回実施

全国拠点で配付予定だった協賛企業からのお土産の梱包・発送作業を、急遽ジョイセフスタッフ全員で実施

ホワイトリボンラン2017～2020まで大会の競技運営をサポートしてくださった株式会社ルーツ・スポーツ・ジャパンのみなさん

私たちは
ランイベント運営のプロです。
ホワイトリボン活動に賛同し、
ボランティアで全国の拠点運営を
されている皆さまが効率的に、
安全に当日を迎えられるよう、
今後も裏方としてサポート
させていただきます。

協賛企業からのメッセージ

Messages from Partners

エフエムジー＆ミッション

ホワイトリボンラン2020にご縁をいただいたことを大変ありがたく存じます。エフエムジー＆ミッションは、「Inspiring women（女性の人生を輝かせる会社であり続ける）」というビジョンのもと、女性の自立を応援し、「きれいと元気」をお届けすることをミッションとした、女性を支える企業として日々活動しています。引き続きホワイトリボン活動を応援してまいります！

エフエムジー＆ミッション株式会社
イベント/CSR 担当　川上 スージー

富士市くすの木学園 ホワイトリボンラン・トイレットペーパー

世界中の女性を応援したい！という思いで、たくさんの方とつながることができるホワイトリボンランに協賛でき、とても光栄です。弊社は、女性社員に乳がん検診を義務付けるなど、女性に特化した福利厚生があります。女性が健康で、元気に社会活動を行うことは、社会全体の活性化にもつながります。ホワイトリボンランに参加する皆さんと共に、女性がもっと元気で輝く社会になるよう盛り上げていきたいです。

株式会社コーチョー
経営戦略部　児玉 実香

ROOTOTE ホワイトリボンラン・トートバッグ（Women's 会場限定）

今回もオフィシャルトートバッグとして参加できましたことを嬉しく思います。会場で開催できず残念ではありますが、バーチャルランを通じて参加者同士が白いリボンでつながっていることに感動しました。トートバッグはミニマルなMEDIAです。普段でも使って是非、活動を伝えてください！

株式会社ルートート
代表取締役　神谷 富士雄

INSOU 涼音

弊社には「夢や想いを持っている女性に対し、活躍する場を提供する」という行動規範があります。その為、ホワイトリボンランの支援活動を応援したいという気持ちから、大会への参加と売上の一部を毎月寄付しております。コロナウィルスの影響により、様々な不安を抱えている方々が多くいらっしゃるかと思います。そんな不安を取り除けるよう、今後も輝く女性を応援し続けるよう努めてまいります。頑張りましょう！！

INSOU ホールディングス株式会社
店舗開発・購買部 購買課 交渉 G　武中 星真

水出しでおいしい麦茶

今回、初めてホワイトリボンランに参加させていただきました。ご参加を予定していた皆さまに、会場で直接お会いできず残念でしたが、ホワイトリボンランの取組みに一緒に参加できたことをうれしく思います。「水出しでおいしい麦茶」をご家庭で楽しんでいただけましたでしょうか？これからの夏場の水分補給にも活躍できますと幸いです。

株式会社はくばく
商品戦略部 第二課　米山 桂太・潮 実鈴

ビオレさらさらパウダーシート

社員の寄付組織である花王ハートポケット倶楽部では、世界の女性の健康を守る活動に賛同し、2016年から、社員はランナーやボランティアとして、また花王からは製品の提供を通じて、ホワイトリボンランを応援しています。「自分のできることや好きなことで、世の中の役に立つことができる喜びを伝えたい。」という参加社員の想いとともに、今後も、誰もが安心して暮らせる社会づくりをめざし、ホワイトリボンランを応援していきたいと思います。

花王株式会社コーポレートコミュニケーション部門
社会貢献部　丹野 はる菜

ラクトフェリンラボ

私たちはラクトフェリンの先端研究で女性のキレイを応援しながら、対象製品売上の一部をホワイトリボン活動に寄付しています。ホワイトリボンラン 2020 は会場開催できませんでしたが、SNSの盛り上がりが凄い！ SNSで気軽にチャリティに一歩踏み出せることが素晴らしいですね。サラヤ社員もたくさんSNS発信しました。このチャリティランの輪がもっともっと広がれば良いなと思います！

サラヤ株式会社
コンシューマー事業本部　営業統括部　大橋 裕美子

FIAT（フィアット）

すべての女性が自分の人生を自分で決める、そして、女性が未来のリーダーとなること、ジョイセフの目指す世界に共感し、ホワイトリボンランを支援しています。
特に、地球規模の危機に直面している今、より平等で、より多くの人のことを考え、より持続可能な社会へ導くリーダーシップが必要とされているのです。
皆さん、let's keep running together!

FCA ジャパン株式会社
マーケティング本部長　ティツィアナ・アランプレセ

チアシード 蒟蒻ゼリー

今回は参加が出来ず残念でした。初めてイベント参加のお誘いを受けたときは、イベントのこと、ホワイトリボンのことはまったく知りませんでした。女性に生まれた者として目を背けることのできないお話をスタッフからお聞きし、少しでも力になれたらと思い参加しました。
次回こそは！皆さんに直接お会いできますことを楽しみに！明るくて温かい未来がやってくるのを待ちたいと思います。

株式会社若翔
広報　川田 さゆり

私たちも応援しています！

ナチュラルサイエンス

子どもたちの「大好き！」の絵が全国から寄せられる弊社のチャリティイベント「スマイルキッズ絵画展」でジョイセフとは長いお付き合いとなります。世界中が女性を讃える国際女性デーと連動したホワイトリボンランは、妊娠中から、産後、子育てといった女性のライフステージに合わせたスキンケアを製造販売している弊社にとっても素晴らしいイベントであり、世界中の女性の笑顔が増えることは私たちの願いでもあります。「自分のために」走ることで「誰かのために」なること。ずっと続いていってほしいと思います。

株式会社ナチュラルサイエンス企画室　松坂 るり

イオンドクター

今年は新型コロナウイルス感染症のため、やむを得ず中止となりましたが、弊社もホワイトリボンランの趣旨に賛同し、東京大会会場で参加者の方々とその想いを共有したく展示する予定にしていました。多くの方々の想いをその場で感じ、一緒に活動できる喜びを体験できると楽しみにしていました。そのような女性のための素晴らしい活動が来年も実施され、広がりますこと願っております。

株式会社ジェイ・エス 代表取締役　嶋田 武史

競輪補助事業
この報告書は競輪の補助により作成しました。
http://hojo.keirin-autorace.or.jp

ホワイトリボンラン 2020 報告書

ホワイトリボンラン事務局（ジョイセフ内）
〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 1-10 保健会館新館　TEL : 03-3268-5875
2020 年 6 月 30 日発行　発行人：公益財団法人ジョイセフ